報告事項

【令和６年度第１回宮城県農村振興施策検討委員会】

農山漁村なりわい課の令和６年度業務概要について

１　令和６年度　農山漁村なりわい課の事業について　【Ｐ１】

２　令和６年度　農山漁村なりわい課　事業施策体系　【Ｐ２】

３　多様な人材による地域づくり支援事業　【Ｐ５】

４　みやぎ農山漁村しごと・くらし体験支援事業　【Ｐ６】

５　農産物直売所ラストワンマイル実証事業　【Ｐ７】

６　農村型地域運営組織（農村ＲＭＯ）形成推進事業　【Ｐ８】

７　農泊地域の周遊ビジネスモデル事業　【Ｐ１１】

８　鳥獣害防止対策事業　【Ｐ１２】

【参考配布】

みやぎ・いなか・トランスフォーメーション（ＭＩＸ）推進業務の実施結果

【第１１回みやぎのふるさと農美里（のんびり）フォトコンテスト（Ｒ５）】

ー入選作品「中山間地を守ってる人」（栗原市）ー

宮城県農政部農山漁村なりわい課

令和６年度　農山漁村なりわい課の事業について

◎課の目的

農山漁村なりわい課は、人口減少や高齢化が進行し、地域の担い手不足や活力の低下が一層深刻化する中、農山漁村を維持し活性化するため、関係人口や移住希望者等に選ばれる持続可能な「活力ある農山漁村」の実現に向けた取組を推進しています。

具体的には、都市と農村の距離の近さや美しい風土と豊富な地域資源の強みを活かし、郷土愛のある地域人材と外部人材との持続的な協働による「多彩ななりわい」を創出します。また、農村の人口減少や高齢化に対応しながら魅力ある地域を維持していくため、多面的機能の維持・発揮やICTを導入した野生鳥獣害対策などDXの推進さらに安全で安心した生活を送るための環境整備や防災機能の強化に取り組みます。

◎課の体制

課長

- 総括課長補佐（事務）
- 総括課長補佐（技術）

農山漁村調整班（3名）
- ▽農山漁村振興施策の企画調整
- ▽議会関係の調整、課の予算・経理・庶務
- ▽中山間地農業推進対策
- ▽宮城県農村振興施策検討委員会運営
- ▽豊かなむらづくり全国表彰事業

交流推進班（5名）
- ▽多面的機能支払交付金
- ▽農山漁村地域の交流促進
- ▽地域資源の保全、活用
- ▽農山村の集落体制づくり支援
- ▽世界農業遺産

中山間振興班（5名）
- ▽農村の生活環境の整備
- ▽中山間地域等直接支払交付金
- ▽農地耕作条件改善
- ▽鳥獣被害防止対策
- ▽農山漁村地域のDXの推進

6次産業化支援班（5名（4名））
- ▽農林水産物を活用した6次産業化の推進
- ▽6次産業化に取り組む人材の育成・発掘
- ▽6次産業化商品の新たな販路開拓支援
- ▽農産物直売所の活性化

（参考：職種構成）

事務	７名（６名）
農業	３名（１名）
園芸	１名（３名）
農業土木	９名
水産	１名
計	２１名（２０名）

※（　）はR5年度

◎主な事業

No.	担当班	事業名	事業概要
1	交流推進班	シン・令和のむらづくり推進事業（地域づくり）	地域と大学・企業の関係構築や多様な人材のマッチング支援
2	交流推進班	シン・令和のむらづくり推進事業（しごと・くらし体験）	地域の暮らし・仕事体験や新たな地域滞在型交流を促進
3	交流推進班	農泊地域周遊ビジネスモデル事業	農泊地域の連携による周遊性と収益性の向上、受入環境整備による農泊ビジネスの仕組みづくりを支援
4	交流推進班	むらまち交流拡大推進事業	都市と農山漁村地域の交流・農泊等の推進
5	6次産業化支援班	農山漁村発イノベーション対策交付金事業	他分野との連携や新技術の活用等による新商品の開発促進等
6	6次産業化支援班	農産物直売所ラストワンマイル実証事業	農産物直売所が農産物の集荷・移動式スーパー実施のモデル実証
7	6次産業化支援班	地域資源活用型なりわいづくり事業	バイヤー主導による「売れる」商品づくりに向けた農林漁業者への支援
8	農山漁村調整班	中山間地農業ルネッサンス推進事業	中山間地域の農業振興の取組支援、農村型地域運営組織の形成支援
9	中山間振興班	中山間地域等直接支払交付金事業	農業生産条件が不利な地域の生産条件を補正するための助成
10	中山間振興班	鳥獣害防止対策事業	野生鳥獣による農作物被害防止のための取組支援
11	交流推進班	みやぎの地域資源保全活用支援事業	農地や土地改良施設等の地域資源を活用した地域住民活動の支援
12	交流推進班	多面的機能支払交付金事業費	多面的機能の維持・発揮を図るための共同で行う活動支援
13	中山間振興班	農村整備事業費	農業集落排水施設等の強靭化等による農村の条件整備
14	中山間振興班	農業集落排水整備推進交付金事業費	農業集落排水施設維持管理補助（農業集落排水工事の県負担分）
15	中山間振興班	県営農道整備事業費	高生産性農業を促進するための農道整備
16	中山間振興班	農村総合整備事業費	農村集落の生活環境整備・農業生産基盤整備
17	中山間振興班	農地耕作条件改善事業費	高収益作物への転換等を図るための生産基盤整備
18	中山間振興班	農業水路等長寿命化・防災減災事業費	用排水路の長寿命化対策

令和６年度　農山漁村なりわい課　事業施策体系

R6. 2. 20

農山漁村なりわい課は、関係人口や移住希望者に選ばれる持続可能なみやぎの農山漁村づくりを目指しています。
本県は、都市と農村の距離が近く、美しい風土や地域資源が豊富にある強みを生かし、郷土愛のある地域人材が外部人材との協働により、多彩な”なりわい”を創出します。
また、農村において人口減少や高齢化に対応しながら魅力ある地域を維持していくため、DX の推進や生活環境整備、防災機能を強化します。

新・宮城の将来ビジョン

政策１－施策２
宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興

政策１－施策３
地域の底力となる農林水産業の国内外への展開

政策７－施策１６
豊かな自然と共生・調和する社会の構築

政策８－施策１８
生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実

食と農の県民条例基本計画 施策体系（Ｒ３～Ｒ１２）

Ⅰ（豊かな食）
時代のニーズに対応した県産食品の安定供給

Ⅱ（儲ける農業）
時代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開

Ⅲ（活力ある農村）
ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築

みやぎ INAKA 応援し隊活動状況

●食料・農業・農村基本法【農村分野】の見直しの方向

(1)　人口減少化における末端の農業インフラの保全管理
(2)　人口減少を踏まえた移住促進・農村におけるビジネスの創出
(3)　都市と農村の交流、農的関係人口の増加
(4)　多様な人材の活用による農村の機能の確保
(5)　中山間地域における農業の継続
(6)　鳥獣被害の防止

施策名

１　県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進
◆農産物直売所販売額
170 億円(R12)　→　126 億円(R4)

６　基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

８　水田フル活用による需要に応じた作物生産の　振興

10　関係人口とともに創る活力ある農村
◆農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数
80 社（R12）　→　67 社（R4）
◆都市と農村の交流活動事業に参加した人数
400 人(R12)　→　394 億円（R4）

11　地域資源を活用した多様ななりわいの創出
◆農業生産関連事業の年間総販売額
400 億円(R12)　→　255 億円（R4）
◆地域の課題解決等に取り組む活動組織の形成数
150 組織(R12)　→　114 組織（R4）

12　環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
◆農村環境保全等の共同活動に参加した人数
78,500 人(R12)　→　62,507 人（R4）
◆日本型直接支払制度取組面積
72,700ha(R12)　→　76,291ha（R4）
◆野生鳥獣による農作物被害額
116,800 千円(R12)　→　154,515 千円（R4）

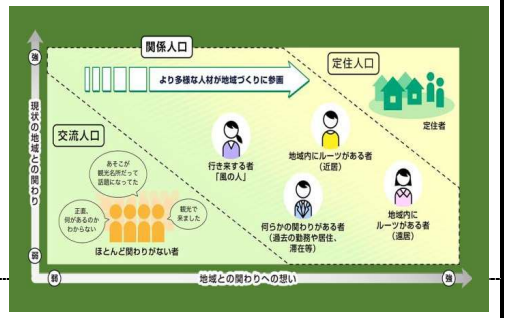
13　農業・農村の強靭化による地域防災力の強化
◆機能更新を行った農業集落排水施設数
36 箇所(R12)　→　7 箇所（R4）

事業名

①むらまち交流拡大推進事業(4,221 千円)
・農山漁村プラットフォームによる都市農村交流体制整備、人材育成、情報発信等
②地域資源活用型なりわいづくり事業（13,230 千円）★R6 新規　園芸戦略
・バイヤーとのタイアップ商品開発、規格外品等の活用、農林水産物直売所の支援等

③農地耕作条件改善事業費（14,712 千円）
・農地集積の推進、高収益作物への転換を図る整備等　【沢渡、矢本地区】
④中山間地域等直接支払交付金事業（266,000 千円）
・生産条件不利地への交付金　【13 市町、216 協定、面積 223ha】

①【再掲】むらまち交流拡大推進事業(4,221 千円)
⑤シン・令和のむらづくり推進事業(地域づくり)（8,550 千円）
・持続可能な地域づくりへ外部人材を活用した地域課題解決、大学連携活動
【角田市豊室、大和町宮床、南三陸町入谷地域】
⑥シン・令和のむらづくり推進事業(しごと・くらし体験)（8,971 千円）
・農山漁村地域に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大
【大崎市鳴子、栗原市花山、川崎町地域】
⑦農泊地域周遊ビジネスモデル事業（4,500 千円）★R6 新規
・農泊地域の連携による周遊性の向上と滞在時間の長期化による収益向上
【大崎市、栗原市、登米市、南三陸町】



⑧農山漁村発イノベーション対策交付金事業（18,900 千円）　園芸戦略
・農山漁村発イノベーションサポートセンターの設置・運営及び人材育成研修による事業者支援　【支援事業者：4 社程度】
⑨農産物直売所ラストワンマイル実証事業（3,800 千円）
・農産物直売所の農産物等の集荷、地域住民買い物支援、地域内の宅配便配送等の「輸送サービス」の実証　【登米市内の道の駅】
②【再掲】地域資源活用型なりわいづくり事業（13,230 千円）

⑩中山間地農業ルネッサンス事業（34,780 千円）
・創意工夫ある農業振興支援　【大崎市、松島町、加美町】　農村ＲＭＯモデル形成支援　【加美町鹿原、川崎町支倉地域】
④【再掲】中山間地域等直接支払交付金事業（265,924 千円）
⑪鳥獣被害防止対策事業（495,612 千円）
・野生鳥獣による農作物被害を防止するための捕獲経費、侵入防止柵の設置、集落ぐるみの取組支援　情報共有を図る会議や研修会の開催
⑫多面的機能支払事業　みどり戦略（2,190,000 千円）
・多面的機能の維持発揮のため、地域内の農業者等が共同で取組活動に対しての交付金　田んぼダム取組支援　【33 市町村、998 組織、76,020ha】
⑬みやぎの地域資源保全活用支援事業（13,000 千円）
・中山間地域等農村活性化基金を活用し、地域資源の利活用、保全活動を支援　【13 保全隊、23 指導員】　世界農業遺産の活動支援

⑭農村整備事業(295,945 千円)　みどり戦略　・農業集落排水施設の整備　【9 地区】、維持管理適正化計画の策定　【8 地区】
⑮農業集落排水整備推進交付金事業費（4,788 千円）　・農業集落排水事業の維持管理経費及び元利償還財源等　【11 地区】
⑯県営農道整備事業費　国土強靭化（181,125 千円）　・【柳田峠２期地区（丸森町）H27～R9　進捗○%】
⑰農村総合整備事業費（19,950 千円）　・集落道路整備　【中新田地区（加美町）】
⑱農業水路等長寿命化・防災減災事業費　国土強靭化（170,900 千円）　・農業用排水路整備　【10 地区】

3,748,984 千円　※人件費を除く

令和６年度　農山漁村なりわい課　施策体系概要

（単位：千円）

事　業　名　等	ビジョン等		主な事業内容	Ｒ６当初	Ｒ５．２補後	増減額	担当班
Ⅰ　時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）				再掲	再掲		
施策１　県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進				13,230	0	13,230	
【再掲】 地域資源活用型なりわいづくり事業	ビ	デジ田	【国庫：5,000千円　一財：8,230千円】 ≪タイアップ商品開発事業：委託 1,000千円≫ 販売のプロのバイヤー（百貨店等）に委託し、その百貨店等で「売るための（売れる）商品（マーケットイン型）」の商品設計・開発について農林漁業者等を支援 ≪地域資源活用促進支援事業：運営経費 3,230千円≫ 地域資源を活用した新商品の試作や販路開拓等を地方振興事務所等が専門家派遣等により支援（規格外品の活用のために実施する事業を優先）。市町村や地方振興事務所担当職員のスキルアップを図る研修を実施 ≪地域資源活用推進整備事業：補助 7,500千円≫ 地域資源を活用した商品製造に必要な機器等の整備に倒して補助。 ●補助対象者：①６次産業化事業者　②農林漁業者と連携し農商工連携に取り組む食品事業者等、３者程度 ●補助率：１／２以内 ●補助上限：２，５００千円 ≪地域の拠点強化支援：補助 1,500千円≫ 農産物等直売所の運営・機能強化のために自ら実施する事業費を補助	13,230		13,230	６次産業化支援班
Ⅱ　次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）				再掲	再掲		
施策６　基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化				14,712	96,776	▲ 82,064	
【再掲】 農地耕作条件改善事業費			【国庫（農地集積・集約化対策整備交付金）：14,320千円　一財：392千円】 ≪農地集積の推進等に対する助成：補助 14,320千円 事務雑費 392千円≫ 農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積推進や高収益作物への転換を図るための計画策定、基盤整備等を実施 （令和６年度） ●実施地区：沢渡、矢本（令和５年度から継続） ●事業主体：農業法人（団体営） ●工事費　：定額 ●補助割合：国５０％ 県１４％[生産基盤のみ] 市町村等３６％ 国５５％ 県　〃　市町村等３１％（過疎地域、特定農山村地域 等）	14,712	96,776	▲ 82,064	中山間振興班
施策８　水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興				14,712	96,776	▲ 82,064	
【再掲】 農地耕作条件改善事業費			【国庫（農地集積・集約化対策整備交付金）：14,320千円　一財：392千円】 ≪農地集積の推進等に対する助成：補助 14,320千円 事務雑費 392千円≫ 農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積推進や高収益作物への転換を図るための計画策定、基盤整備等を実施 （令和６年度） ●実施地区：沢渡、矢本（令和５年度から継続） ●事業主体：農業法人（団体営） ●工事費　：定額 ●補助割合：国５０％ 県１４％[生産基盤のみ] 市町村等３６％ 国５５％ 県　〃　市町村等３１％（過疎地域、特定農山村地域 等）	14,712	96,776	▲ 82,064	中山間振興班
Ⅲ　ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）				3,748,984	3,909,225	▲ 160,241	
施策10　関係人口と共に創る活力ある農村				26,242	23,247	2,995	
シン･令和のむらづくり推進事業 （地域づくり）	ビ	デジ田	【国庫（デジ田交付金地方創生タイプ横展開型）：4,275千円　一財：4,275千円】 ≪パートナーシップづくり助成：補助 2,000千円≫ 農山漁村地域を支える人材の確保・育成を図るため、地域と大学（学生）がともに行う農作業等の交流活動や地域の新しい価値を発見する取組など、地域と大学の関係性を構築 ≪パートナーシップづくり支援：委託 6,167千円 事務費 383千円≫ 大学または大学生（INAKAゼミ）、県職員（みやぎのINAKA応援し隊）や企業など、多様な人材を活用し、地域住民による地域課題の解決や地域資源活用等に向けた自主的・主体的取組を支援	8,550	5,045	3,505	交流推進班
シン･令和のむらづくり推進事業 （しごと･くらし体験）	ビ	デジ田	【国庫（デジ田交付金地方創生タイプ横展開型）：2,120千円　一財：6,851千円】 ≪農村のしごと・暮らし体験：委託 4,067千円（国庫：2,120千円　一財：1,947千円）・事務費 454千円≫ 農山漁村地域に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図るため、県内外の社会人や学生を対象とした各種プログラムを通じ、「新たな地域滞在型交流」を促進 ≪集落支援員の情報発信支援：委託 4,450千円［一財・特交措置］≫ 農泊地域の情報収集や情報発信、地域間連携等を支援する集落支援員（１名）を委嘱	8,971	4,645	4,326	交流推進班
農泊地域周遊ビジネスモデル事業	ビ	デジ田	【国庫（デジ田交付金地方創生タイプ横展開型）：2,000千円　一財：2,500千円】 ≪農泊地域広域周遊ビジネスモデル事業：委託 3,361千円 事務費 248千円≫ 農泊地域の広域連携による周遊性向上と滞在時間の長期化による収益性向上、広域で活動するコーディネート人材育成及び持続的な農泊ビジネスの仕組みづくりを支援 ≪農泊地域ビジネス化商談会：委託 889千円 事務費 2千円≫ 農泊地域のビジネス化に必要な旅行会社等とのマッチング支援等	4,500		4,500	交流推進班
むらまち交流拡大推進事業	ビ		【国庫（農山漁村活性化対策推進交付金）：2,500千円　一財：1,721千円】 ≪農泊の推進：委託 2,500千円≫ 地域間交流、人材育成、コンテンツ開発支援、情報交換及び事業連携等 ≪都市農村交流促進支援：委託 320千円 運営経費 1,401千円≫ 都市農村交流アドバイザー派遣、民泊体験受入協議会向け研修会、圏域単位で実施する講演会・意見交換会、イベントPRやセミナー参加等	4,221	4,271	▲ 50	交流推進班
シン･令和のむらづくり（MIX）推進事業	ビ	デジ田	【委託料 2,930千円】 地域運営組織の活動状況を把握するための実態調査や、地域運営組織を参集した地域課題解決に関する研修会実施や機運の醸成を図る等、地域運営組織の磨き上げをしながら令和６年度以降の伴走支援を行うモデル地区を選定する。		2,965	▲ 2,965	農山漁村調整班
地域資源･キャリア人材フル活用事業 （人材育成）	ビ	デジ田	【補助金 3,500千円】農山漁村地域における農泊等の受入れ体制づくりの支援 【委託料 4,000千円】都市部人材や企業との連携に必要な地域コーディネート人材の育成		6,321	▲ 6,321	交流推進班
施策11　地域資源を活用した多様ななりわいの創出				35,930	75,333	▲ 39,403	
農山漁村発イノベーション対策交付金事業			【国庫（農山漁村振興交付金）：18,900千円】 ≪農山漁村発イノベーションサポート事業：委託 13,250千円 補助 500千円≫ ●農山漁村発イノベーションに取り組む事業者の伴走支援のため、サポートセンターを設置・運営、地域プランナー等を派遣し戦略策定等を支援（県委託：10,450千円） ●農山漁村イノベーションに取り組む人材育成のための研修会等を開催（県委託：2,800千円・市町村補助：500千円） ≪農山漁村発イノベーション推進支援事業：補助 5,150千円≫ ●農林漁業者や市町村、民間事業者等による２次・３次産業と連携した加工・直売に係る新商品開発・販路開拓 ●残渣など未利用部分を活用した商品の研究開発等の取組を支援	18,900	13,814	5,086	６次産業化支援班
農産物直売所ラストワンマイル実証事業	ビ		【一財：委託 3,800千円】 ●農産物直売所において、同一の車両を活用して農産物の集荷と地域住民の買い物支援、地域内の宅配便配送等を組み合わせた直売所輸送サービスの内容検討や運営方法の実証（令和５年度作成の運営計画に基づく実証実験と検証） ●直売所のサービス拡充による地域拠点としての機能強化を図るための実証	3,800	3,973	▲ 173	６次産業化支援班

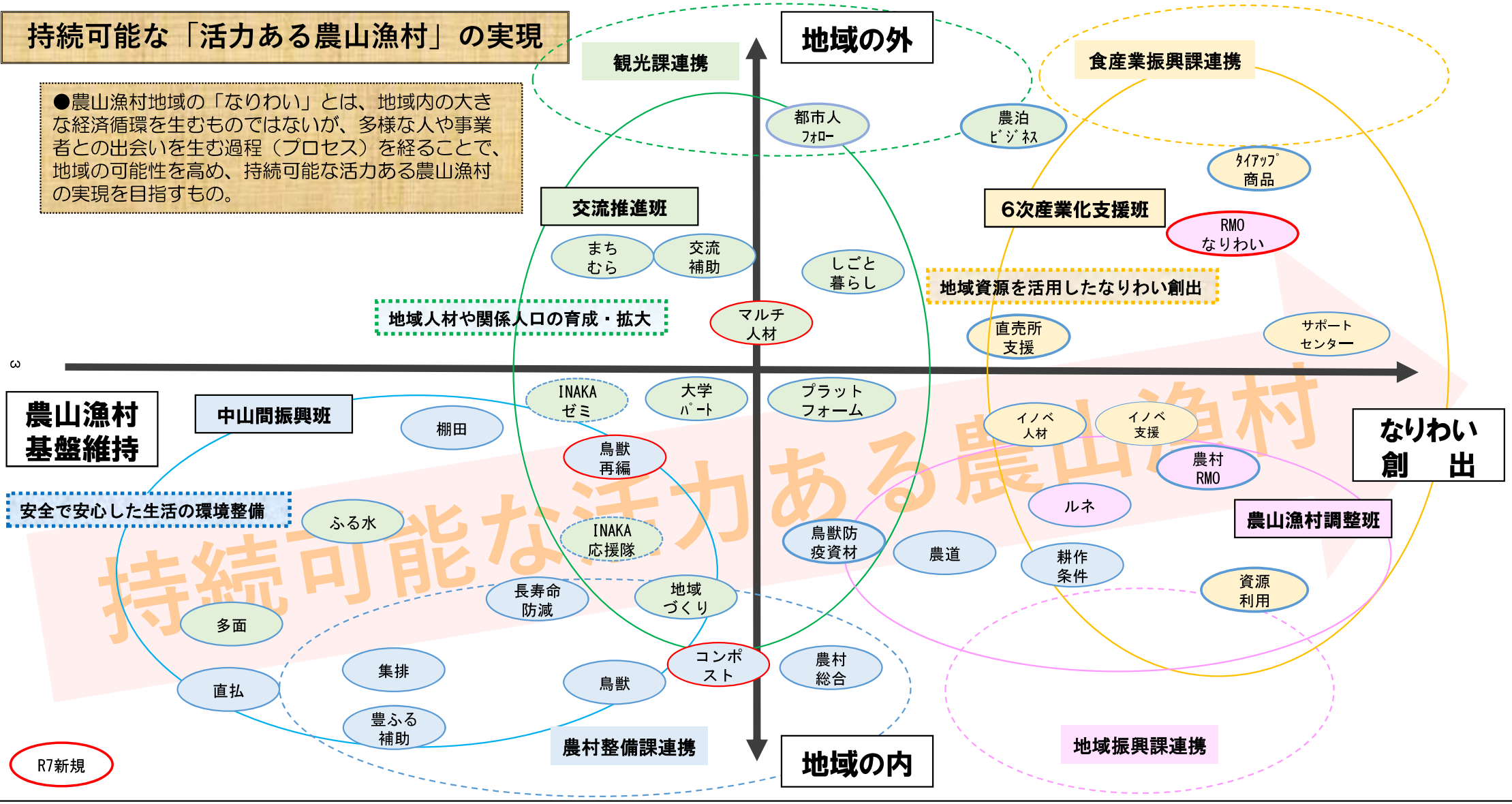
	地域資源活用型なりわいづくり事業	ビ	デジ田	【国庫：5,000千円　一財：8,230千円】 ≪タイアップ商品開発事業：委託 1,000千円≫ 販売のプロのバイヤー（百貨店等）に委託し、その百貨店等で「売るための（売れる）商品（マーケットイン型）」の商品設計・開発について農林漁業者等を支援 ≪地域資源活用促進支援事業：運営経費 3,230千円≫ 地域資源を活用した新商品の試作や販路開拓等を地方振興事務所等が専門家派遣等により支援（規格外品の活用のために実施する事業を優先）。市町村や地方振興事務所担当職員のスキルアップを図る研修を実施 ≪地域資源活用推進整備事業：補助 7,500千円≫ 地域資源を活用した商品製造に必要な機器等の整備に倒して補助。 ●補助対象者：①６次産業化事業者　②農林漁業者と連携し農商工連携に取り組む食品事業者等、３者程度 ●補助率：１／２以内 ●補助上限：２，５００千円 ≪地域の拠点強化支援：補助 1,500千円≫ 農産物等直売所の運営・機能強化のために自ら実施する事業費を補助	13,230		13,230	６次産業化支援班
	地域資源･キャリア人材フル活用事業（６次産業化）	ビ	デジ田	【事務費 2,256千円】 地方振興事務所が農林水産物等多様な地域資源を活用した商品開発や販路開拓支援するほか、研修会等を開催 【補助金等 4,833千円】 農林漁業者や移住者等が取り組む６次産業化を活用した創業等を支援 【委託料 6,119千円】 総合化事業計画認定事業者等の「新しい生活様式」に対応した商品開発等を支援するほか、計画策定に向けて伴走型支援を行う。また、開発商品の販路拡大やブラッシュアップ等を図るための展示販売会を開催する。 【委託料 2,000千円／補助金 1,094千円】 農産物直売所を地域住民活動等の拠点とするため、現状分析や課題整理、課題解決に必要な設備等の改良や機器の整備に対して補助を行う。		13,556	▲ 13,556	６次産業化支援班
	みやぎ農産物直売所等活力向上支援事業		コロナ物価重点	【国庫：7,000千円（コロナ臨時交付金）・50,000千円（物価高騰重点交付金）】 ●事業内容：農産物直売所等の物価高騰による負担軽減のため、電気料金増額分を補填（補助） ●補助対象者：農産物直売所、農漁家レストラン及び民宿 ●補助対象経費：令和５年４月分から令和６年３月分までの電気料金を令和３年度と比較し、増額した額の１／２を補助 ●補助率：１／２以内 ●補助上限：無し		43,990	▲ 43,990	６次産業化支援班
施策12　環境と調和した持続可能な農業・農村づくり					2,999,392	2,845,607	153,785	
	中山間地農業ルネッサンス推進事業	ビ		【国庫（農山漁村振興交付金）：34,780千円】 ≪中山間地域の農業振興支援：補助 13,780千円≫ 中山間地域で創意工夫あふれる取組を行う市町村に対して経費を助成 （松島町：113千円 大崎市：5,000千円 加美町：8,667千円） ≪農村ＲＭＯ形成伴走支援：委託 5,000千円 運営経費 1,000千円≫ 地域運営組織等を対象とした農村ＲＭＯの形成に向けた伴走支援及び情報収集、関係機関の知識習得や連携体制強化等を実施 ≪農村ＲＭＯモデル形成支援：補助 15,000千円≫ 農村ＲＭＯの形成に取り組む地域協議会等に対して経費助成し支援 （川崎町支倉地区 5,000千円　加美町鹿原地区 5,400千円　その他１地区程度）	34,780	5,969	28,811	農山漁村調整班
	中山間地域等直接支払交付金事業	ビ		【国庫：174,720千円　一財：91,204千円】 ≪中山間地域等直接支払交付金：交付 259,231千円（国庫：168,709千円・一財：90,522千円）≫ 農業生産条件が不利な中山間地域等の生産条件を補正し、農業生産活動の継続を支援（集落又は集落協定に基づき５年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対して交付） ≪中山間地域等直接支払推進交付金：交付 5,353千円・運営経費（農村振興施策検討委員会・協定活動支援研修会・全国棚田サミット等）　1,416千円（国費：6,061千円・一財：708千円）≫ ●県推進交付金（国費：708千円・一財：708千円） ：集落協定等の継続支援や指導、農村振興施策検討委員会の開催等に係る経費 ●市町村推進交付金（国費：5,353千円）：市町村が行う推進事務や現地確認等に要する対象経費	266,000	251,698	14,302	中山間振興班
	鳥獣害防止対策事業		復サ・特交	【国庫：435,529千円　一財：60,083千円（真水 3,083千円/特交 57,000千円）】 ≪県鳥獣被害防止総合支援事業交付金交付：補助 483,212千円(特交含む)≫ 被害防止計画策定済の市町村地域協議会等に対策事業費を交付（間接補助） ●市町村　　：推進事業　3,776千円（うち特交　467千円） 整備事業　19,201千円（うち特交　2,373千円） ●市町村以外：推進事業 143,080千円（うち特交 17,684千円） 整備事業 317,155千円（うち特交 36,476千円） ≪県鳥獣被害防止対策事業：委託 8,837千円 補助 2,800千円 運営経費 763千円≫ ●鳥獣Ｗｅｂマップの更新、被害対策指導の人材育成：6,087千円 ●ＩＣＴ技術活用による鳥獣被害防止対策の普及：2,750千円 ●効果的な被害防止対策の普及を目指した集落ぐるみモデル事業実施：84千円 ●豚熱感染確認区域でのイノシシ捕獲活動に必要な防疫資材経費補助：2,800千円 ●その他（対策研修会及び会議開催・職員育成・市町村被害防止計画作成及び実施隊設置支援）：679千円	495,612	410,532	85,080	中山間振興班
	みやぎの地域資源保全活用支援事業	ビ	基金	【財産収入（基金利子）：1,017千円　繰入金（基金）：11,982千円 一財：1千円】 ≪地域資源の調査研究事業：委託 6,500千円 補助 580千円 運営経費 250千円≫ ●ふるさと・水と土指導員等が行う調査・研究：830千円 ●ワークショップ等住民活動支援：4,500千円 ●土地改良施設等地域資源の工法研究：2,000千円 ≪ふるさと・水と土指導員等研修事業：使用料 1,160千円 運営経費 1,827千円≫ ●地域住民活動活性化を図る指導員・リーダー育成・確保の研修会：1,027千円 ●農業人材育成に係る教育機関（農業大学校・農業高校）との連携：1,960千円 ≪地域資源の保全活用推進事業：補助 2,060千円 運営経費 623千円≫ ●農村振興施策検討委員会開催経費等：473千円 ●ふるさと・水と土保全隊設立及び保全活動支援：2,060千円 ●農村コミュニティ活性化による住民活動支援：150千円（農美里フォトコンテスト開催経費）	13,000	8,420	4,580	交流推進班
	多面的機能支払交付金事業費	ビ		【国庫：1,481,112千円　一財：708,888千円】 ≪多面的機能支払交付金交付：交付 2,126,664千円≫ ●農地維持（農地保全・水路泥上げ・農道草刈り・集落機能強化等）：2,023,113千円 ●資源向上（施設の軽微補修・景観形成・施設長寿命化の共同活動等）：103,551千円 ≪多面的機能支払推進交付金交付：交付 62,336千円≫ ●市町村事業：29,781千円 ●協議会事業：32,555千円 ≪多面的機能支払推進交付金：運営経費 1,000千円≫ ●県事業：農村振興施策検討委員会開催経費等 215千円 活動組織広域化・集落機能強化等事業推進経費 272千円 普及啓発経費 513千円	2,190,000	2,162,671	27,329	交流推進班
	みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業			【事務費 382千円】 みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション（以下、ＤＸ）推進協議会の運営、研修会・セミナー等の開催。 【委託料 6,000千円】 モデル市町村（地域）を２箇所設置し、地域の実情に合ったデジタル技術を活用したＤＸ地域戦略計画を策定するとともに、活用に向けた地域住民等の理解と体制づくりを支援する。		6,317	▲ 6,317	中山間振興班

施第13　農業・農村の強靭化による地域防災力の強化				687,420	965,038	▲ 277,618	
	農村整備事業費			【国庫（農村整備事業費）：282,950千円　一財：12,995千円】 ≪農業集落排水施設整備事業：補助（国庫） 282,950千円 事務雑費（仮節） 12,995千円≫ 　農業集落排水施設等の保全対策、災害対策等の強靭化及び維持管理の効率化等を実施することにより、農村の持続性の向上を図る。 ≪実施地区≫ ＜工事費：１７地区　282,950千円＞ （整備・改築） ●継続：５地区（南郷第３、筥岳中央、中津山、新高石、畑岡）　204,950千円 ●新規：４地区（定川、小在家、藤岡、井土）　32,000千円 （維持管理適正化計画等） ●継続：０地区 ●新規：８地区（中津山、新高石、畑岡、田尻第一、筥岳中央、南郷第２、中埣、荻埣）　46,000千円 ＜事務費：県（2.5%）　12,995千円＞	295,945	311,350	▲ 15,405	中山間振興班
	農業集落排水整備推進交付金事業費			【一財：4,788千円　※自然増減管理】 ≪農業集落排水事業実施要綱に基づき事業を実施した市町村に対する補助：補助 4,788千円≫ 　農業集落排水事業に係る維持管理経費及び起債の元利償還財源等として、事業完了年度の翌年度から最大７ヵ年で交付する（従来の建設事業費に対する県嵩上げ補助相当分）。 （令和６年度） ●交付対象：１１地区（大泉、西古川、飯川、冨岡、後小路、桜岡、新田、新小路、大村、中埣、北赤井） ●交付期間：事業工期に１年を加えた期間（最大７ヵ年） ●交付率　：平成１３年度以降採択地区＝国庫補助対象事業費総額の１５%以内 　　平成２２年度　〃　＝　〃　の　１%以内	4,788	15,338	▲ 10,550	中山間振興班
	県営農道整備事業費	ビ		【国庫（農村整備事業費）：86,250千円　負担：23,000千円　県債：71,800千円　一財：75千円】 ≪農道整備による農業生産性の向上と農産物流通の合理化 　：工事 145,500千円 補償 20,000千円 委託 7,000千円 事務雑費 8,625千円≫ 　農業の振興を図る地域において農道網を整備することにより、高生産性農業を促進し、農業の近代化とともに農村環境の改善と強靭化を図る。 （令和６年度） ●実施地区：柳田峠２期（継続） 　　→狭小な幅員の本路線を整備し、通行時間短縮と輸送コスト低減を図り、地域農業の経営基盤強化に貢献 ●主要工事：農道工（路床工・路盤工）　Ｌ＝２８０ｍ（全延長：２，１１４ｍ） ●実施期間：平成２７年度から令和７年度まで（計画変更で令和９年度まで） 　　※令和５年度において国経済対策（国土強靭化）補正予算により、令和６年度事業の１／２を前倒しにより実施	181,125	262,405	▲ 81,280	中山間振興班
	農村総合整備事業費			【国庫（農山漁村地域整備交付金）：15,000千円　県債：4,900千円　一財：50千円】 ≪農業集落排水事業・集落基盤整備事業：補助（市町村） 19,200千円 事務雑費 750千円≫ 　農村集落の生活環境整備と農業生産基盤整備を計画的かつ一体的に推進し、生産と生活の機能の高度化を図りながら、生産性の高い農業の育成と生活環境の改善を図る。 （令和６年度） ●実施地区：中新田（継続） ●主要工事：農業生産基盤整備 ●実施期間：平成２４年度から令和８年度まで	19,950	25,531	▲ 5,581	中山間振興班
	農地耕作条件改善事業費			【国庫（農地集積・集約化対策整備交付金）：14,320千円　一財：392千円】 ≪農地集積の推進等に対する助成：補助 14,320千円 事務雑費 392千円≫ 　農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積推進や高収益作物への転換を図るための計画策定、基盤整備等を実施 （令和６年度） ●実施地区：沢渡、矢本（令和５年度から継続） ●事業主体：農業法人（団体営） ●工事費　：定額 ●補助割合：国５０% 県１４%[生産基盤のみ] 市町村等３６% 　　国５５% 県　〃　市町村等３１%（過疎地域,特定農山村地域 等）	14,712	96,776	▲ 82,064	中山間振興班
	農業水路等長寿命化･防災減災事業費			【国庫（農業水利施設保全管理整備交付金）：131,185千円　県債：39,700千円　一財：15千円】 ≪用排水路の長寿命化対策支援 　：補助（市町村） 131,185千円・補助（その他） 33,698千円・事務雑費 6,017千円≫ 　農業生産活動の基盤となる農業水利施設の長寿命化対策、省力化対策及び防災減災対策を実施 （令和６年度） ●実施地区：継続（登米吉田③、一迫狐崎②、根白石②、桑折江４期、金成小堤、登米吉田④、善王寺②、桜岡③） 　　新規（村田・小泉、白川内親） ●事業主体：市町村、土地改良区（団体営） ●工事費　：定額 ●補助割合：国５０% 県１４%[生産基盤のみ] 市町村等３６% 　　国５５% 県　〃　市町村等３１%（過疎地域、特定農山村地域 等）	170,900	70,620	100,280	中山間振興班
	中山間地域農地保全支援事業費			【補助金 3,000千円】 　中山間地の国庫補助要件に満たない小規模農地の簡易基盤整備を行い営農継続を支援する。		1,823	▲ 1,823	中山間振興班
	県営農道整備事業費(国土強靭化)			【工事　一財：10千円】 ≪工事請負費の県単調整費分を増要求≫ 　農業の振興を図る地域において農道網を整備することにより、高生産性農業を促進し、農業の近代化とともに農村環境の改善と強靭化を図る。 （令和６年度） ●実施地区：柳田峠２期（継続） 　　→狭小な幅員の本路線を整備し、通行時間短縮と輸送コスト低減を図り、地域農業の経営基盤強化に貢献 ●主要工事：農道工（路床工・路盤工）　Ｌ＝２８０ｍ（全延長：２，１１４ｍ） ●実施期間：平成２７年度から令和７年度まで（計画変更で令和９年度まで） 　　※令和５年度において国経済対策（国土強靭化）補正予算により、令和６年度事業の１／２を前倒しにより実施		181,135	▲ 181,135	中山間振興班
	県営中山間地域総合整備事業費			【償還金　一財：60千円】 ≪令和３年度事業の精算に伴い、受入超過となっていた負担金・分担金の返還を行うもの≫ 　農業生産条件が不利な地域の実情を踏まえ、農業生産基盤と農村生活環境基盤の整備を総合的に行い、中山間地域における定住促進や国土・環境保全など、農業・農村の活性化を図る。 ※令和４年度で事業終了 ●実施地区：前川地区（川崎町） ●負担区分：国５５%、県３０%、その他１５%		60	▲ 60	中山間振興班
小　計（Ⅰ～Ⅲ）					3,748,984	3,909,225	▲ 160,241	
人件費・事務費等					144,043	144,413	▲ 370	
	人件費				142,203	142,504	▲ 301	農山漁村調整班
	事務費				1,840	1,909	▲ 69	農山漁村調整班
合　計					3,893,027	4,053,638	▲ 160,611	

R6農山漁村なりわい課施策体系概念図（ver. 6）R6. 3. 1

持続可能な「活力ある農山漁村」の実現

●農山漁村地域の「なりわい」とは、地域内の大きな経済循環を生むものではないが、多様な人や事業者との出会いを生む過程（プロセス）を経ることで、地域の可能性を高め、持続可能な活力ある農山漁村の実現を目指すもの。



R6農山漁村なりわい課施策体系概念図（ver. 6）R6. 3. 1

略号	事　業　名	内　容
まち むら	①むらまち交流拡大推進事業	都市農村交流の情報発信及び人材育成 4,221千円
プラット フォーム	①むらまち交流拡大推進事業	農泊ﾈｯﾄﾜｰｸによる推進
都市人 ﾌｫﾛｰ	①むらまち交流拡大推進事業	都市人材と地域のマッチング
ﾀｲｱｯﾌﾟ 商品	②地域資源活用型なりわいづくり事業	ﾊﾞｲﾔｰとのﾀｲｱｯﾌﾟ商品開発支援【委託･補助】1,000千円
資源 利用	②地域資源活用型なりわいづくり事業	地域資源を活用した新商品開発支援【補助】10,730千円
直売所 支援	②地域資源活用型なりわいづくり事業	農林水産物直売所の地域拠点強化支援【補助】1,500千円
耕作 条件	③農地耕作条件改善事業	農地集積の推進や高収益作物の導入支援【補助】14,712千円
直払	④中山間地域等直接支払交付金事業	農業生産条件が不利地域の生産条件補正支援【補助】266,000千円
棚田	④中山間地域等直接支払交付金事業	上記のうち棚田加算【補助】
地域 づくり	⑤シン・令和のむらづくり推進事業（地域づくり）	地域と大学とのﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ助成【補助】2,000千円
大学 ﾊﾟｰﾄ	⑤シン・令和のむらづくり推進事業（地域づくり）	地域のﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟづくり支援【委託】6,550千円
しごと 暮らし	⑥シン・令和のむらづくり推進事業（しごと・くらし体験）	体験プログラム策定支援【委託】4,521千円、集落支援員　4,450千円
農泊 ﾋﾞｼﾞﾈｽ	⑦農泊地域周遊ビジネスモデル事業	農泊地域間の広域連携ﾓﾃﾞﾙ構築【委託】4,500千円
サポート センター	⑧農山漁村発イノベーション対策交付金事業	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰの設置・運営【委託】10,450千円
イノベ 人材	⑧農山漁村発イノベーション対策交付金事業	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ人材育成の研修会開催【委託】3,300千円
イノベ 支援	⑧農山漁村発イノベーション対策交付金事業	研究開発等の取組支援【補助】5,150千円

略号	事　業　名	内　容
ラスト ワン	⑨農産物直売所ラストワンマイル実証事業	農産物等直売所輸送ｻｰﾋﾞｽの実証【委託】3,800千円
ルネ	⑩中山間地農業ルネッサンス事業	中山間地域の農業振興支援【補助】13,780千円
農村 RMO	⑩中山間地農業ルネッサンス事業	農村型ＲＭＯ形成支援【委託】6,000千円【補助】15,000千円
鳥獣	⑪鳥獣被害防止対策事業	被害防止計画に基づく捕獲、防止柵、環境整備及び人材育成【補助】492,812千円
鳥獣防 疫資材	⑪鳥獣被害防止対策事業	ｲﾉｼｼ捕獲活動に必要な防疫資材の経費【補助】2,800千円
多面	⑫多面的機能支払事業	多面的機能の維持向上を図る地域の共同活動を支援【補助】2,190,000千円
ふる水	⑬みやぎの地域資源保全活用支援事業	地域資源の利活用及び保全整備等促進【委託･補助】13,000千円
集排	⑭農村整備事業	農業集落排水施設等の保全対策【補助】295,945千円
集排	⑮農業集落排水整備推進交付金事業	農業集落排水施設の維持管理経費への補助【補助】4,788千円
農道	⑯県営農道整備事業	農道整備　181,125千円
農村 総合	⑰農村総合整備事業	農村集落の生活環境と農業生産基盤の整備【補助】19,950千円
長寿命 防減	⑱農業水路等長寿命化・防災減災事業	農業水利施設の長寿命化、省力化対策【補助】170,000千円
交流 補助	⑲市町村総合補助金	豊かなふる里保全整備事業
豊ふる 補助	⑲市町村総合補助金	都市と農山漁村の交流拡大事業
INAKA 応援隊	その他	県職員によるボランティア支援団体
INAKA ゼミ	その他	大学生による任意団体

多様な人材による地域づくり支援事業

農山漁村なりわい課　交流推進班

現状・課題

◆農山漁村，特に中山間地域では，少子高齢化・人口減少が都市に先駆けて進行している。
◆田園回帰による人の流れが全国的な広がりを持ちながら継続している。
◆農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価されている。

取組方針

農山漁村地域における課題解決に向けたサポート体制を構築するため，大学（大学生），企業，県職員など，多様な人材を活用し，住民による地域課題の解決や地域資源の活用等に向けた自主的・主体的な取組を支援する。

①　パートナーシップづくり助成事業【補助】　～交流・価値発見型～

農山漁村地域を支える人材の確保・育成を図るため，地域と大学（大学生）がともに行なう農作業などの交流活動や地域の新しい価値を発見する取組など，地域と大学との関係性を構築する。
（地域と大学との関わりが継続的な活動につながるよう，実施期間は原則３年とする）

【補助金　２，０００千円】　８地域×２５０千円（補助額上限）

県
×
大学との連携強化
農村と大学の
マッチング支援

【農村側メリット】
・労働力の確保
・若者の視点による気づき
・やりがい，張り合い
【大学側のメリット】
・学内ではできない体験や学び
・実践力の体得
・交流による新たな気づき

【令和５年度実績】

採択地区数：７件
〇宮　城　大　学：１件（丸森町耕野地域）
〇尚絅学院大学：１件（栗原市蓬田地域）
〇東北福祉大学：３件（白石市小原地域、山元町坂元地域、亘理町吉田西部地域）
〇東北学院大学：２件（丸森町、南三陸町）

丸森町斎理屋敷

フィールドワーク（地域資源調査）

丸森町猫神様

記録した画像データ
３Ｄモデル化

地域資源デジタル化 ⇨ ＡＲ等観光資源へ活用

②　パートナーシップづくり支援事業【委託】　～課題解決実践型～

農山漁村地域を支える人材の確保・育成を図るため，大学または大学生（ＩＮＡＫＡゼミ），県職員（ＩＮＡＫＡ応援し隊），企業など，多様な人材を活用し，住民による地域のありたい姿の実現や地域資源の活用等に向けた自主的・主体的な取組を支援する。（対象地域は継続して３年間支援する）

【委託費等　６，５５０千円】（委託費　６，１６７千円（４地域）　事務費　３８３千円）

×

【令和５年度実績】

委託先：（株）スリーデイズ（大崎市）　●委託対象

対象地域：４地域
●角田市豊室地域×みやぎＩＮＡＫＡゼミ
●大和町宮床・吉田地域×宮城大学
〇丸森町耕野地域×みやぎＩＮＡＫＡ応援し隊（県職員）
〇村田町沼田地域×みやぎＩＮＡＫＡ応援し隊（県職員）

フィールドワーク
（地域資源調査）

地域資源活用に向けた
ワークショップ

地域住民アンケート

研修会

地域のありたい姿
の実現に向けて

【令和６年度の取組】

各地域とも交流促進に向けた受入体制づくりのため、新たに交流イベント等の企画、実施に取り組み、継続した交流につながる受入体制構築に向けた整理を行う。

みやぎ農山漁村しごと・くらし体験支援事業　～活力ある農山漁村に向けて～

農山漁村なりわい課　交流推進班

【現状と課題】

◆中山間地域を含む農山漁村等では、少子高齢化の進展等により担い手が減少し、集落機能の維持が難しくなっている。

◆地方への移住に関心のある人は増加しており、一歩踏み出すためには、対面等での相談・ＳＮＳ等での情報提供、助成金等支援施策、就職あっせん等の支援の要望が高い。

◆地域おこし協力隊員の定住率（令和３年度：総務省）
　全国　65.3％　　宮城　70.0％

【取組方針】

農山漁村と都市との交流を一層拡大し、都市から農山漁村への人の流れを創ることで、より深い地域との関わりに繋がる『新たな地域滞在型交流』を促進し、農村に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図る。

令和５年度実績　委託先（株）スリーデイズ（大崎市）

【大崎市鳴子温泉地域】
北欧デンマークの、地域に中長期滞在し生き方を学ぶ学校（フォルケホイスコーレ）に鳴子で取り組む団体（宮城フォルケ）と協働し、地域資源を体験するプログラムの提供による継続した地域滞在型交流を支援する。

【栗原市花山地域】
栗原市と姉妹都市協定を結ぶ台湾の南投市からの中長期滞在受入を目指し、地域資源を活用した体験プログラムの作成や受入体制構築を図る。

地域資源活用に向けたワークショップ

研修会

鳴子の森を歩いて
メープルシロップを作る

地域におけるショートプログラム実施

神社で宮司さんから
地域の歴史を学ぶ

【令和６年度の取組】

各地域ともミドル体験プログラム（１週間程度）の受入を実施し、その成果を踏まえ、ロング体験プログラム（１ヶ月程度）のプログラム作成や、この取組を継続して受け入れしていくための受入体制整備を行う。

農村のしごと・くらし体験

【委託費　8,971千円】
（内訳）・参画者の合意形成、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ検討・設計等　4,571千円
・集落支援員による情報発信支援　4,450千円

①農村に関わるきっかけづくり

②数日型プログラム（ｼｮｰﾄｽﾃｲ）

③滞在型プログラム（ﾐﾄﾞﾙｽﾃｲ）

④長期滞在型プログラム（ﾛﾝｸﾞｽﾃｲ）

①農山漁村の魅力発信

目的：都市部在住の農村に興味がある若者との関係性づくり。プログラムに参加してもらうきっかけづくり。
内容：農村で何かやりたいと考えている若者に対して、一人ひとりの要望に応じたプログラムづくりや農村の情報提供。

②お手伝い型プログラム【既存の枠組み活用】

目的：県内外に住む若者と地域や農家との関係性づくり。
期間：数日～１週間
内容：農作業の繁忙期、地域の共同作業やイベント等の単発的なお手伝い。

③－１地域づくり型プログラム

目的：学生の学びや成長、地域の課題解決等を図りつつ、地域に関わる人材を育成。
期間：１か月程度
内容：学生を対象に単なる労働力の提供ではなく、地域に応じたテーマを設定して活動する。

③－２半農半Ｘ型プログラム

目的：働きながら農業体験をすることで地域に関わる人材を育成。
期間：１か月程度
内容：社会人を対象に働き（テレワークなど）ながら、農家から知恵や業を学び、農作業を体験する。

④地域での学び型プログラム

目的：農村での学びや暮らしを通じて地域に関わる人材を育成。
期間：１～数か月
内容：社会人や学生を対象に地域の仕事や暮らしを学び、自分にあったライフスタイルを見つける・創る・実現する。

事業スケジュール（※イメージ）

令和５年度
・地域調査（開拓）
・受入地区募集、選定
・プログラム検討・設計
・ショートステイ実施
・広報・参加者募集

令和６年度
・受入地区募集、選定
・プログラム検討・設計
・ミドルステイ実施
・広報・参加者募集

令和７年度
・受入地区募集、選定
・プログラム検討・設計
・ロングステイ実施
・広報・参加者募集

地域を支える多様な人材の育成・確保

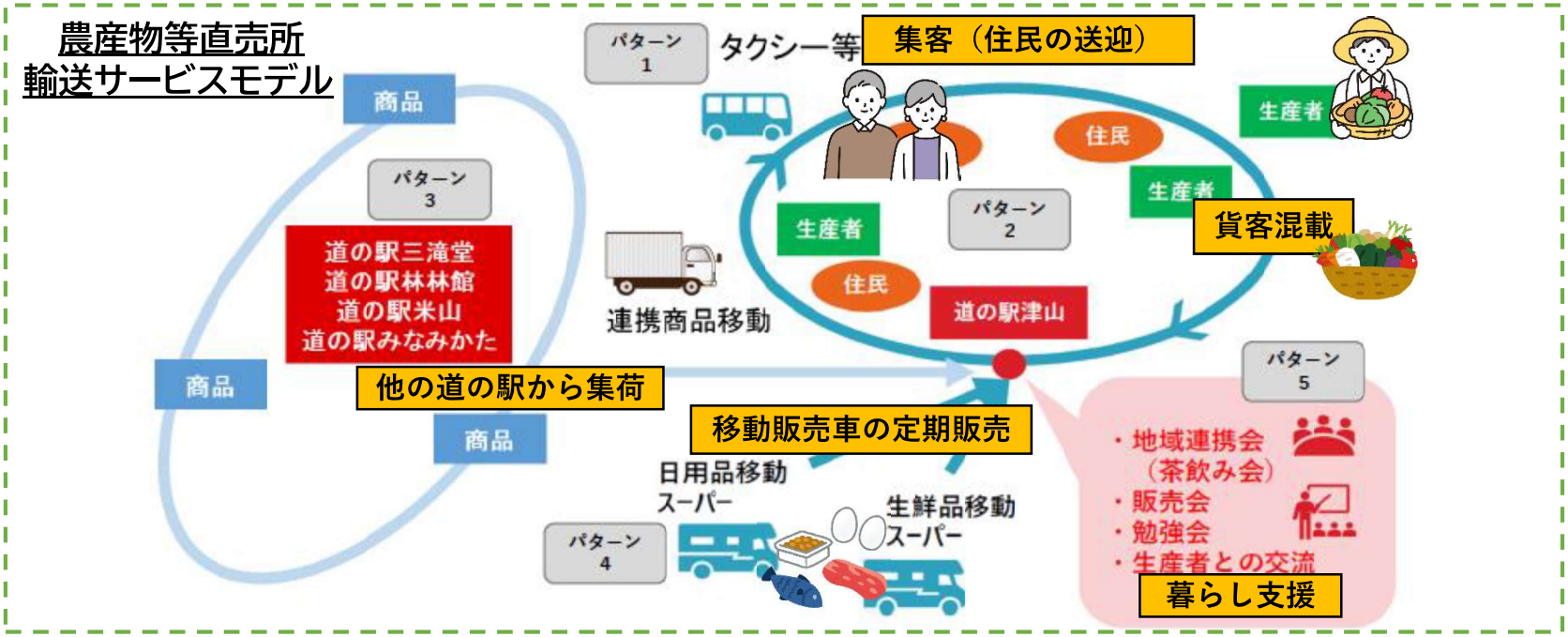
多様な働き方に対応した農山漁村の実現

移住・定住（就農）

農産物直売所ラストワンマイル実証事業（委託事業）

農山漁村地域の農産物等直売所は、地域の拠点としての役割を有しているが、高齢化が進む地域では生産者の高齢化等により出荷量が減少しており、品揃えの確保、売り上げの維持・向上を図ることが課題となっている。また、農山漁村地域では、買い物弱者も多く、その支援が課題となっている。

上記課題を解決するため、「農産物等直売所輸送サービスモデル」を作成し、
「集荷体制」と「買い物支援」の複合モデル（約5パターン）を試験的に構築し、効果を検証します。



1年目（令和5年度）
- 現状把握と課題整理
- 運行パターンの構築
- 運営計画案の作成
- 運行計画の提案

2年目（令和6年度）
- 運営計画の作成
- 実証実験
- 許認可手続き
- 実証実験結果の検証

直売所を地域内配送の拠点化し、活性化・効率化、販路拡大と農家所得の向上を目指す。